

何でもかんでも「マニュアル化」・「効率化」で

安全最優先の作業はできるのか？！

「リニア建設費捻出」に向けたコスト削減へまっしぐら！！

2月19日付で『号車移動によるハコ見習い作業について』という会社掲示が貼られています。その内容は「見習い業務の適正化」をするというもので「1号車の見習いをやれば2・6・15・16号車も見習いなしで作業ができる」など、3月1日以降は「見習いに入っていない号車に入る場合がある」というものです。たしかに数年前までは両先頭車（1・16号車）や車掌スイッチ作業のある号車（8・10号車）など以外は基本的につくりは同じだとして全ての号車の見習いには入っていませんでした。しかし、ここ数年は「ヒューマンエラー防止」のためにも、ほぼ全ての号車に見習いに入っていたと思います。より多く見習いについての方が「安全最優先」の経営理念・行動指針にマッチするのではないですか。今回の「措置」は「適正化」と言いながら、要は安全をないがしろにしても人の「ムダ」を省きコスト削減をするということではないですか。

また、同じ日付で「ハコC担基礎技能習得表の導入について」という掲示も貼られています。こちらは「新入社員の技能を目に見える化」して「この作業はできますという新入社員の自己申告に対して他の社員に評価をさせる」といった内容です。

少し前からは一般社員の作業について、管理者による作業点検でなく一般社員に作業を点検させ作業手順の違うところなどをチェックさせるということをしています。社員同士管理させるなら職場に管理者などいらなないと思いますが、最近各車両所で「各種コンテスト」などを競ってやっているようですが、管理者の「やっていますアピール」にしか見えないのは私たちだけでしょうか。

「マニュアル通りに」「喚呼が抜けないように」ということに集中して「電車を見る」という本来の目的がおろそかになってはいけません。

社員の皆さん！現在の職場の状況は「安全最優先」でしょうか？！